

抗原迅速診断キット「クイックナビ™ -Flu+COVID19 Ag」を8月18日から販売開始
～新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスを同時に10分で判定し、デルタ株等一部の変異株にも対応～



< 「クイックナビ™ -Flu+COVID19 Ag」 >

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスを1つのデバイスで同時に診断可能な抗原迅速診断キット（以下、本コンボキット）を8月18日（水）から販売いたします。本コンボキットは新型コロナウイルス変異株においてアルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株、カプパ株(*)に対応しています。

当社と販売提携先の大塚製薬株式会社の2社から販売する本コンボキットはイムノクロマト法で特別な検査機器を必要とせず、一般の医療機関でも迅速かつ簡便に検査を行うことができます。1つのキットで新型コロナウイルス抗原とインフルエンザウイルス抗原（A型・B型）を同時に10分で判定します。また、RSウイルス抗原迅速診断キット「クイックナビ™ -RSV2」と鼻咽頭ぬぐい液の検体共用が可能です。

診断時間の短縮によって医療機関のさらなる負担軽減および医師の指導の下で、医療機関・高齢者施設等における速やかなスクリーニング検査体制構築と感染拡大防止に貢献してまいります。尚、本件は2021年度当社連結業績予想に織り込み済みです。

当社は感染症対策を社会的責務と捉え、抗原迅速診断キットにおいては既に1日最大13万検査分の生産体制を構築しています。今後も、検査時間のさらなる短縮や感度向上キットの開発を進め、予防・検査体制の拡充を通じて人々のQOL向上に貢献することで真に社会に必要とされ「社会にとってかけがえのない存在となる企業」を目指してまいります。

以上

(*)カプパ株

デルタ株と同じく、2020年10月にインドで確認された変異株。

現在、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より注目すべき変異株のひとつと分類されています。

